

# 1 一般会計決算



市の会計の中心をなす一般会計の決算収支は、歳入が203億5,488万円、歳出が199億7,253万円で、歳入・歳出の差引き額から翌年度に繰り越すこととなった財源を差引きした実質収支は2億8,767万円となりました。

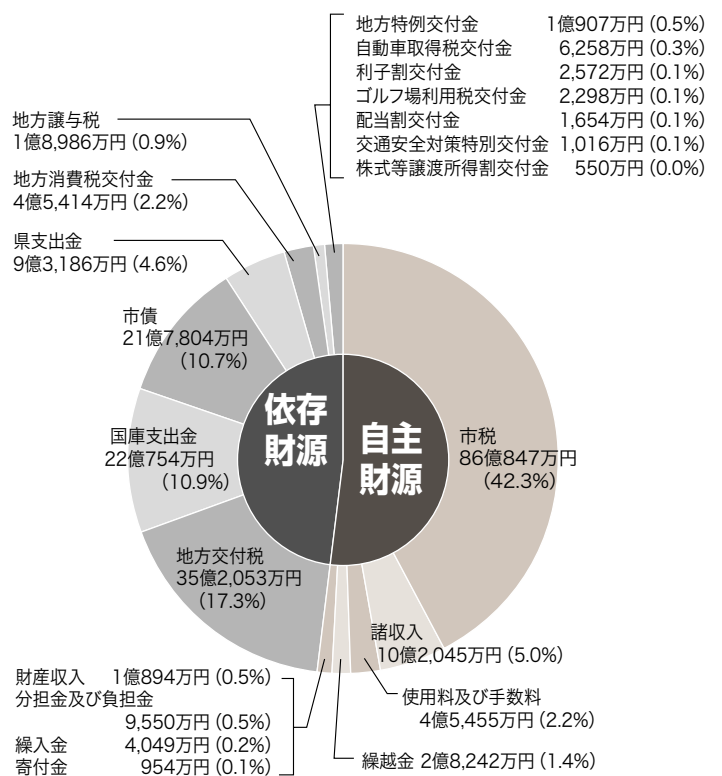
歳入決算は、前年度と比べ2.8%の増加となりました。主な特徴として、国庫支出金が17.7%の減となる一方、地方交付税が17.6%の増、臨時財政対策債や都市計画事業債の増に伴い市債が24.9%の増となっています。

市税など市が自身で収入することができる財源（自主財源）の歳入全体に占める割合は、地方交付税（依存財源）が増となったことなどにより、前年度比1.1ポイント減少して52.2%となっています。多様な行政サービスを提供していくうえで、この割合が高いほどより自主的かつ安定した事業を展開することができます。

## 歳入総額

**203億5,488万円**

自主財源 **106億2,036万円** (52.2%)  
 依存財源 **97億3,452万円** (47.8%)



## 市税の内訳

総額 **86億847万円**

